

	<h2>今年の冬、楽しい「とり見」はじめてみませんか？ 中里郷土の森で「冬のとり見展」を開催！</h2>
と き	令和5年2月27日（月）まで
と ころ	区立中里郷土の森（大泉町1-51-2）
<p>区立中里郷土の森では、2月27日まで、企画展「冬のとり見展」を開催しています。</p> <p>今年のテーマは「とり見（バードウォッチング）」。野鳥観察を通して区内の自然環境に興味を持ってもらうことが目的です。</p> <p>参加型企画「とりコレカード」では、野鳥観察や展示への参加でカードがもらえ、たくさん集めると景品がもらえます。その他、鳥の行動を体感できる展示や、双眼鏡の練習コーナー、とりねりまっぷ（区内の観察マップ）など、幅広い年齢のお子様楽しく遊んで学べる仕掛けがたくさんあります。</p> <p>バードウォッチングが初めてでも安心して参加できるように、自然解説員の常駐、無料での双眼鏡の貸出しなど、来園者のサポートもしています。</p> <p>区内にも多種多様な野鳥が生息しています。ぜひこの冬は親子でとり見にチャレンジしてみたいはいかがでしょうか。</p>	



▲ポスター

### 【企画展概要】

日 時：令和5年2月27日（月）まで 午前9時～午後4時30分（火曜、年末年始休園）

料 金：無料

内 容：①参加型企画「とりコレカード」

展示を見たり、野鳥の種類・行動を観察してミッションをクリアすることでカードがもらえます。たくさん集めると景品ももらえます。カード集めを通して新しい発見や学びに出会うことができるコンテンツです。

②「とり見つけよう」・「とり見て楽しもう」・「とり見に行こう」展示

双眼鏡の使い方を練習し、写真の中から野鳥の場所を探す「とり見つけよう」ブース。「食べる・歩く・はづくろい」という野鳥の3つの行動について体感して学ぶ「とり見て楽しもう」ブース。とりねりまっぷ（区内の観察マップ）を張り出し、区内全域の様々な環境でのとり見を応援する「とり見に行こう」ブース。

この3つの展示を通して、野鳥観察のコツや知識などを楽しみながら、学ぶことができます。



▲イベントの様子



▲とりコレカード

### 【区立中里郷土の森について】

100年以上前からある貴重な屋敷林を活かした緑地で、練馬のみどりや生き物と直接触れ合いながら学べる体験型施設として平成29年3月25日に開園しました。

園内の「森の学習棟」では、常駐の自然解説員とともに、練馬の自然や生きものを楽しく学べる自然体験プログラムを実施しています。（毎週日曜開催）



▲森の学習棟

【問い合わせ】練馬区 みどり推進課 施設係 電話03-5984-1664